DēLonghi
Italian Living Innovation

デロンギ
電気式コードレスケトル

KBM1511J

家庭用

取扱説明書



MADE IN CHINA

KBM1511Jの特長

■必要なときに必要な分量だけを沸かす

保温タイプの電気ポットとは違い、その都度、必要な分量だけを沸かすので、経済的です。

■持ち運び自由、テーブルに直置きが可能

ケトル本体には電源コードがないので、沸き上がり後の持ち運びも自由です。また、底面が熱くならないので、テーブルなどに直に置くことができます。

■自動電源OFF機能付き

沸き上がり時やケトルを電源ベースから持ち上げたとき、安全のために、自動的に電源がOFFになります。

■空だき防止機能付き

使用中、ケトル内が空または水が少ない状態になると、安全のために、自動的に電源がOFFになります。

■ヒーティング・エレメントが、むき出しになっていない

コンシールド・ソールの採用で、内部のお手入れがしやすく、清潔さを保てます。

この度は、デロンギ電気式コードレスケトルKBM1511Jをお求めいただきまして、誠にありがとうございました。製品を正しく安全にご使用いただくため、ご使用の前に、必ずこの取扱説明書を最後までお読みください。また、お読みになった後も、保証書と共に大切に保管してください。

もくじ

安全上のご注意

1. ご使用の前に、必ずこの「安全上のご注意」を最後までお読みください。
2. ここに示した注意事項は、製品を正しく安全にお使いいただき、あなたや他の人々への損害を未然に防止するものです。
3. 注意事項は、誤った取り扱いで生じることが想定される内容を、その危害や損害および切迫の度合いにより、「警告」と「注意」の二つに分け、明示しています。

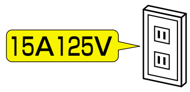
警告	**この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。**
注意	**この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および物的損害の発生が想定される内容を示しています。**

4. 各注意事項には、「注意」「禁止」「強制または指示」を促す絵表示が付いています。

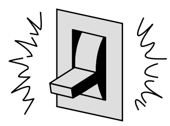
：発火注意　：感電注意　：高温注意　：禁止行為
：分解禁止　：強制／指示　：プラグをコンセントから抜く

電源について

警告
・電源は、「**15A 125V**」と記されている**壁面のコンセント**から直接とってください。

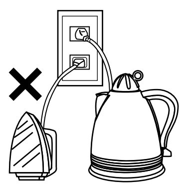


注意
・電源は、家庭用交流**100V／50/60Hz**をご使用ください。
・使用中にブレーカー（分電盤内の配線遮断器）が落ちる場合は、お近くの電力会社にご相談ください。

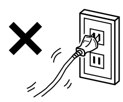


コンセントについて

警告
・コンセントは、**本製品だけ（単独）で**使用してください。また、差込み口が二つあるコンセントの場合は、**片方の差込み口を空のままで**ご使用ください。
・延長コードやタップ、ソケット等は、使用しないでください。タコ足配線も、絶対にお止めください。

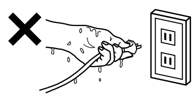


注意
・差込み口のゆるいコンセントは、使用しないでください。

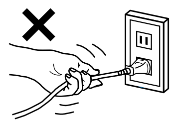


プラグについて

警告
・濡れた手で、プラグの抜き差しをしないでください。



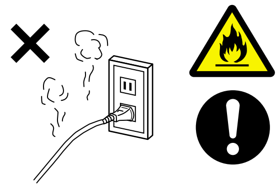
注意
・プラグを抜くときは、**電源コードを持たず**、必ずプラグ部分を持って抜いてください。
・プラグは、**根元まで**しっかりと差し込んでください。



電源コードについて

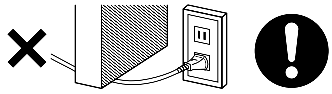
⚠警告

- **電源コードまたはプラグが破損した場合**は、直ちに使用を中止して、販売店または**弊社サービスセンター（裏表紙参照）**に電源コードおよびプラグの交換を依頼してください。
- 使用中に電源コード／プラグが**異常に熱くなる場合**は、使用を中止し、販売店または弊社サービスセンターにご相談ください。



⚠注意

- 電源コード／プラグは、無理に曲げたり、物をのせたり、傷を付けないように、**大切に扱ってください。**



使用上の注意

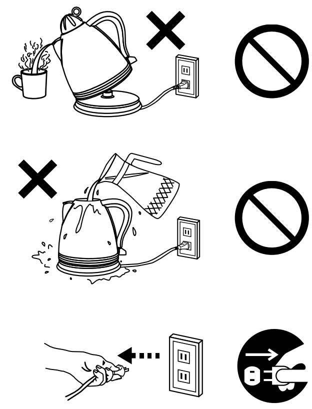
⚠警告

- **直火（ガス台等）や電気ヒーター、電磁調理プレートなどで使用できません。**
- **使用する際は、必ずふたとフィルターをしてください。**「自動電源OFF機能」が働かなくなります。
- 濡れた手で、本体底部や電源ベースに触れないでください。
- **ケトルの注水量は最低0.25L～最大1.7Lです。**必ず、最低水量以上の水を入れ、**最大水量（＝MAXプレート）を超えないようにしてください。**
- 使用中は、注ぎ口に顔や手を近づけたり、ふさがないでください。
- 使用中、近くに小さなお子様やペットがいる場合は注意を払ってください。
- **万一、異常が発生した場合は、直ちに電源スイッチを切り、プラグをコンセントから抜いてください。**



⚠注意

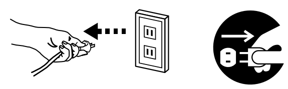
- ケトルは、電源ベースの**中央**に正しくのせてください。
- お湯を注ぐときは、ケトルを電源ベースから離してください。
- **本製品は家事専用の湯沸かしケトルです。**ケトルに水以外のものを入れたり、**屋外や他の用途で使用しない**でください。
- ケトル（ステンレス部分）は、沸騰中および沸騰後もしばらく熱いので、取っ手以外は触れないでください。
- 電源ベースに水（お湯）をこぼさないでください。また、湿気や水のかかる場所、火の近くでのご使用はお止めください。
- 使用後は、**必ずプラグをコンセントから抜いて**ください。



お手入れについて

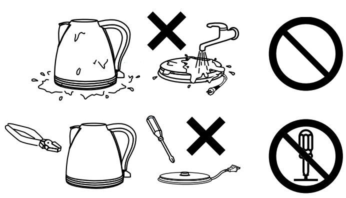
⚠警告

- 事前に必ず**プラグをコンセントから抜き**、各部が冷えてから、お手入れをしてください。

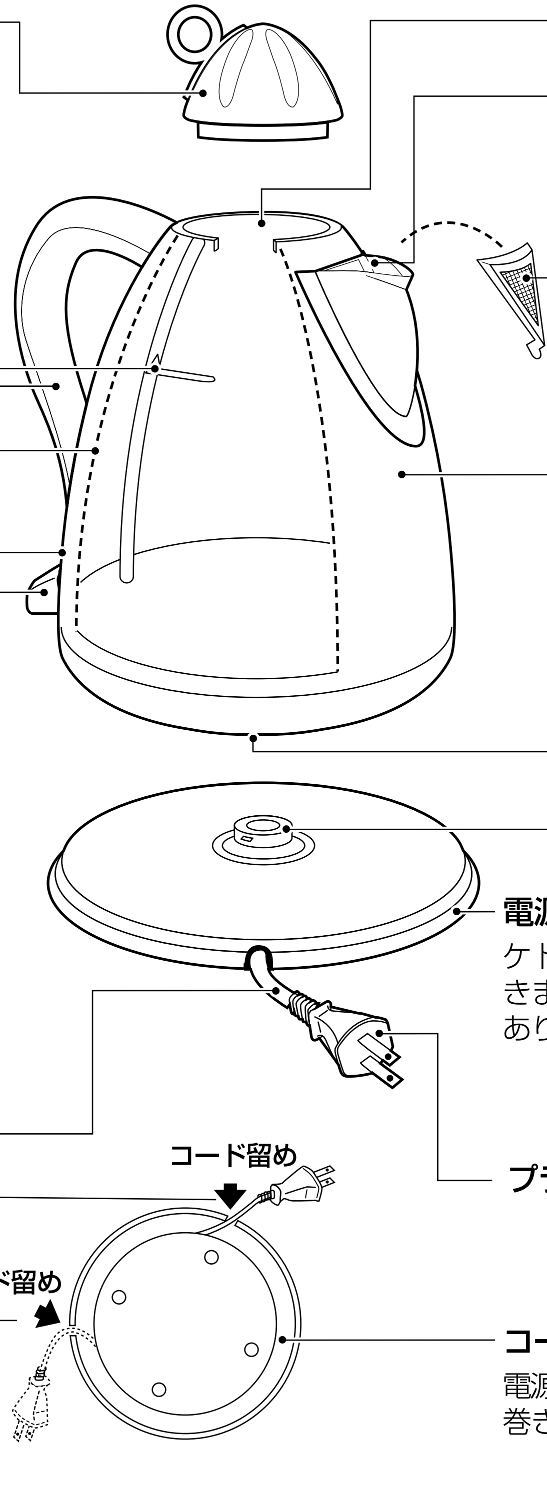


⚠注意

- ケトル底部や電源ベース、電源コード／プラグは、水に浸けたり、水洗いをしないでください。
- シンナーやベンジン、クレンザー、金だわし等は、使用しないでください。
- ご自分で**分解したり、修理／改造をしない**でください。



各部の名称とはたらき



ふた
※使用する際は、必ず取り付けてください。

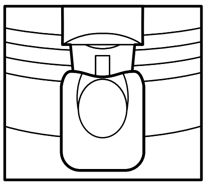
MAX プレート
満水（1.7L）の目印。
※これ以上、水を入れないでください。噴きこぼれます。

取っ手

水量計

電源ランプ
電源が入ると点灯します。

電源スイッチ
押し下げると電源が入ります。沸き上がると自動的に元に戻り、電源が切れます。



また、ケトルを電源ベースから持ち上げたり、ケトルが空だき状態になると、自動的に電源が切れます。

電源コード

コード留め（2ヵ所）
電源コードは、必ずどちらかのコード留めにハメ込んでください。

注水口

注ぎ口

フィルター
取り外して、お手入れできます（取り付け済み）。
※使用する際は、必ず取り付けてください。

ケトル（本体）
※水以外は、入れないでください。

ケトル底面（凹）
（凸）
接続部

電源ベース
ケトルはどの方向からでもセットできます。底面には**コードホルダー**があります。

プラグ

コードホルダー
電源コードがじゃまにならないように、巻きつけておきます。

仕様

製品名称／型式番号		デロンギ電気式コードレスケトル／KBM1511J
定格	電圧／周波数	交流100V／50/60Hz
	消費電力	1200W
容量		1.7L（0.25～1.7L）
外形寸法／重さ（※）		幅250×奥行170×高さ265mm／約1.2kg
電源コードの長さ		2.0m

※外形寸法および重さの数値は、電源ベースを含めたものです。

各部		材質
ケトル	本体	ステンレス
	底部	ポリプロピレン
電源ベース		ポリプロピレン
取っ手		ポリアミド
水量計		ポリアミド

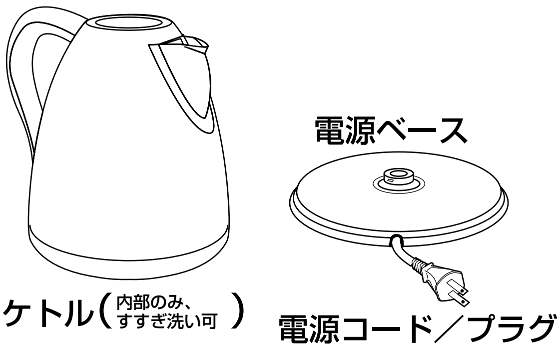
お手入れのしかた

汚れ具合や使用頻度によりますが、定期的に下記の要領でお手入れをしてください。

⚠ お手入れの注意点

・事前に、必ずプラグをコンセントから抜いてください。
・使用後すぐのお手入れは止め、各部が冷えてから行ってください。
・クレンザー（研磨剤）やベンジン、シンナー、金だわし等は、使用しないでください。

水洗いできません



・外側の汚れは、柔らかい布にお湯を含ませ、固く絞ってから拭き取ります。
・落ちにくい汚れは、お湯で薄めた台所食器用洗剤を柔らかい布に含ませ、固く絞ってから拭き取ります。その後、お湯を含ませ固く絞った布で、洗剤を残さず拭き取ってください。
・電源コード／プラグは、柔らかい布で乾拭きだけしてください。

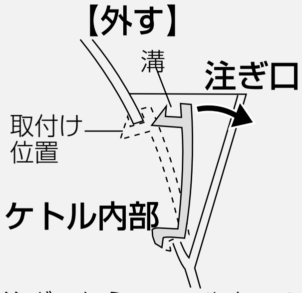
※ケトルの内部は、水洗いできます。
ただし、外側や底部に水をこぼさないようにしてください。

水洗いできます



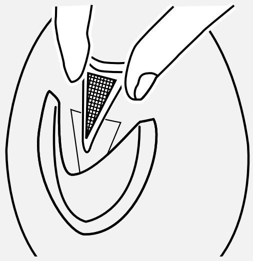
フィルターの外し方／取り付け方

【外す】

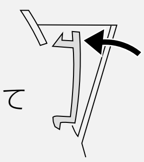


注ぎ口から、フィルターの上部にある溝に指をかけ、矢印方向に引っぱります。外しにくい場合には、フィルターを下に押しながら引っぱると簡単に外すことができます。

【取り付ける】



注ぎ口から差し入れ、カチッといってはまるまで押し込みます。



・柔らかいスポンジと台所食器用洗剤で、水洗いできます。

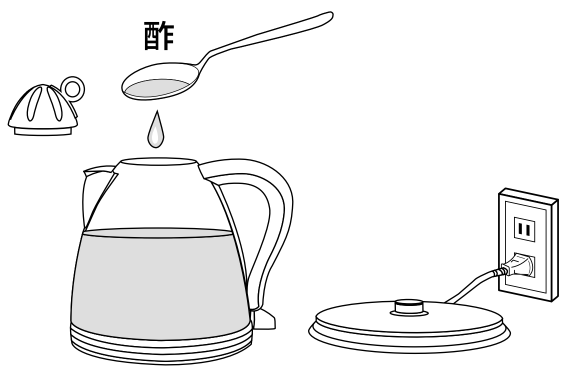
※ケトルには、乾いてから取り付けてください。

※ケトル内部には、指を入れないでください。

石灰分の除去

長く使っていると、ケトルの内壁に石灰分が付着し、白い膜ができます。使用頻度や水質によりますが、付着が目立つ場合は、以下の要領で石灰分を除去してください。

①ケトルに、全体量が満水（**MAXプレートまで**）になるように、水と**大さじ4～5杯の食酢**を入れ、ふたをします。
②ケトルを電源ベースにセットし、電源スイッチを押し下げ（電源を入れ）ます。
③沸き上がったら（＝電源スイッチOFF）、お湯を排水し（**ヤケド注意**）、ケトルを空にします。
④**1分程度の休み（電源OFF状態）をとった後**、ケトルを水だけで満水にして、上記②③を行います。
⑤酢の臭いが消えるまで、上記④を繰り返してください。



使用手順

初めて使う際は、事前に、ケトル内部を水またはぬるま湯ですすいでください。

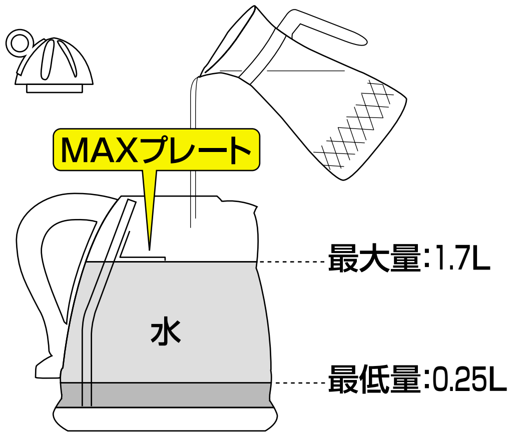
1 ケトルに注水する

ケトルを電源ベースから外し、新鮮な水を必要な量（0.25L～1.7L）だけ入れます。そして、**ふた**をしっかりとしてください。

⚠ ご注意

・注水量がMAXプレートを越えると、沸騰したお湯が噴きこぼれますので、お止めください。

・本器は保温機能がありませんので、必要なときに必要な量だけ沸かしてください。

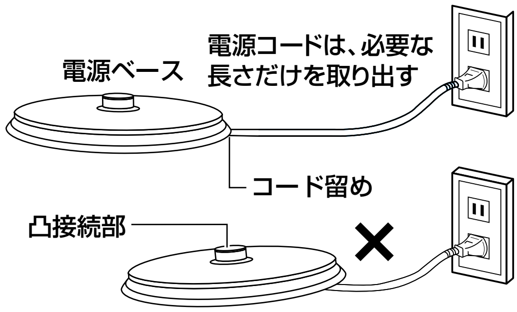


2 電源を接続する

プラグを壁面の**コンセント**に直に差し込みます。根元までしっかりと入れてください。

⚠ ご注意

・余分な電源コードは、コードホルダーに巻きつけます。また、電源コードは、必ずコード留めにハメ込んでください。

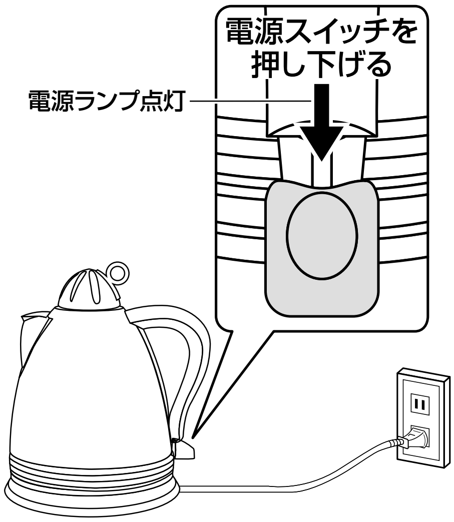


3 ケトルを電源ベースにのせ、電源を入れる

水を入れたケトルを、電源ベースの中央に正しく（＝ケトルの底面の**凹接続部**と電源ベースの**凸接続部**を合わせて）セットします。

ふたがしっかりと入っていることを確認後、**電源スイッチ**を押し下げます。

電源が入ると、**電源ランプ**が点灯します。



⚠ 警告：ご使用の際は、必ずふたとフィルターをしてください。

ふたまたはフィルターを取り付けないで使用する（電源を入れる）と、サーモスタットが温度を感知できないために「自動電源OFF機能」が働かず、電源が入ったままの状態が続きます。
また、**使用中は、絶対に注ぎ口をふさがないでください。**



4 お湯が沸き、電源が切れる

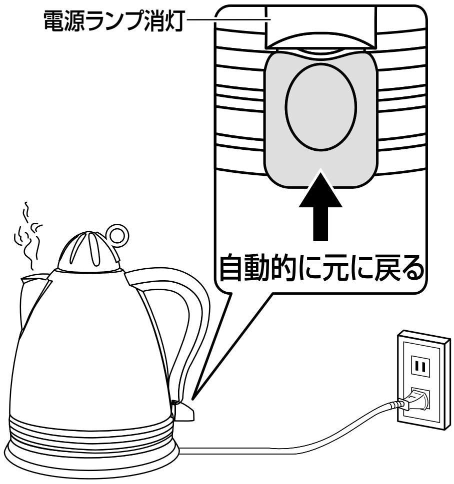
お湯が沸くと「自動電源OFF機能」の働きで、自動的に電源が切れます（→電源スイッチが元に戻り、電源ランプが消える）。

【お湯が沸く前に、電源を切る場合】

・電源スイッチを指で押し上げる
・ケトルを電源ベースから持ち上げる→電源スイッチが、自動的に元に戻る

【連続して使用する場合】

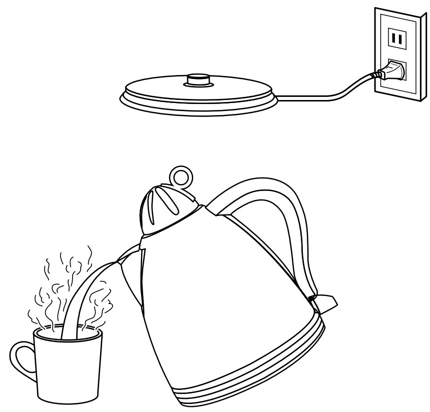
約1分間の休み（＝電源OFF状態）をとってください。



5 お湯を注ぐ

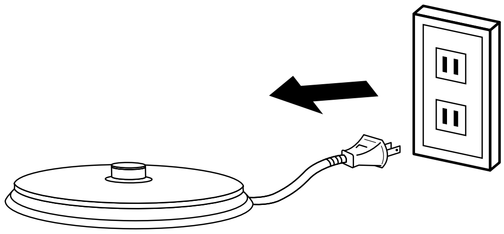
ケトルを電源ベースから外し、ふたがしっかりと入っていることを確認後、お湯を注ぎます。
なお、ケトルの底面は熱くなりませんので、直にテーブルなどに置くことができます。

> ⚠ ご注意
> ・お湯が沸いたときのケトル表面は、80℃以上になります。しばらくは熱いので、取っ手とふたのツマミ以外は触れないでください。ヤケドする危険があります。
> ・濡れたテーブルの上に置くことは、お止めください。



* 使用後は…

プラグをコンセントから抜き、電源コードをコードホルダーに巻きつけます。
ケトルは空にして、お湯を残さないでください。
※お手入れ（4ページ参照）は、各部が冷めてから行ってください。



自動電源OFF機能

お湯が沸いたときやケトルを電源ベースから持ち上げると、自動的に電源スイッチが元に戻り、電源が切れます。
※連続して使用する場合は、1分ほど待ってから電源を入れてください。
※電源スイッチを無理に押し続けることはお止めください。

空だき防止機能

電源を入れ、ケトル内が空もしくは水が少ない状態になった場合は、空だき防止機能が働いて自動的に電源スイッチが元に戻り、電源が切れます。
※この機能が働いた場合は、ケトルと電源ベースから外し、しばらく冷ましてください。

この製品は欧州RoHS指令に適合した製品です。

欧州RoHS指令とは、「電気・電子機器の特定有害物質の使用制限」を規定した欧州連合（EU）による指令です。
この製品は、鉛及びその化合物、水銀及びその化合物、六価クロム化合物、カドミウム及びその化合物、ポリブロモビフェニル（PBB）、ポリブロモジフェニルエーテル（PBDE）の含有率が、いずれも含有率基準値以下であり、環境に配慮して製造されました。

RoHS

アフターサービスについて

DKI-80125P

1)使用中に異常（★）が生じた場合は、ただちに電源を切り、プラグをコンセントから抜いてください。その後、お求めの販売店またはデロンギ・ジャパン サービスセンター（下記参照）にご相談ください。

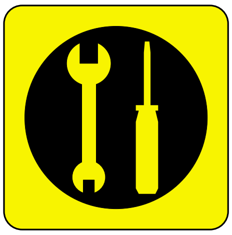
〈★以下のような場合には、点検および修理が必要です〉

- 使用中、電源コードおよび電源プラグ、コンセントが異常に熱くなる
- 電源ベースに水などの液体をこぼした
- 電源コード、電源プラグが変形／破損している
- 本体に強い衝撃を与えた
- 取扱説明書どおりに使用しているのに、正常に機能しない

2)万一、故障／損傷した場合は、保証書に記載されている販売店に**1.お求め時期　2.製品名称と型式番号　3.故障の状況**──を連絡のうえ、修理を依頼してください。なお、弊社サービスセンターにご依頼される場合は、お電話または直接宅配便でお送りください。宅配便の場合は、必ず故障の状況を記したメモを商品パッケージ（梱包箱）に同封してください。

3)保証期間中（1年）は、保証書に記載されているものについては、無償で修理いたします。ただし、安全上および使用上の注意を無視しての故障、規格外に改造をしたものは、その限りではありません。また、保証期間が過ぎたものについては、有償で修理いたします。

4)真心点検のお勧め：長い期間ご使用いただくために、専門技術者による点検・整備も実施しております。点検の依頼の方法、料金などにつきましては、弊社サービスセンターまでお問い合わせください。



※下の枠内に、ご購入年月日を記入してください。点検の目安になります。

ご購入年月日:	年	月	日

5)デロンギ再資源化システムについて

ご不用になった製品は、下記の要領に従い、弊社サービスセンターまでお送りください。素材ごとに分別し、再資源化いたします。

送料について：再資源化の費用は弊社が負担いたしますが、送料はお客様のご負担（元払い）となります。予めご了承ください。

梱包について：製品の入っていた箱（元箱）に入れてお送りください。元箱がない場合は、段ボール箱に入れるか、エアーパッキンにくるんでください。
※外箱または送り状に、必ず「再資源化」と明記してください。

以上、アフターサービスについてご不明の点がございましたら、お求めの販売店または弊社サービスセンターまでお問い合わせください。

デロンギ・ジャパン サービスセンター▶（受付時間　土、日、祝日を除く毎日　9:30〜18:00）

● コールセンター

修理について………Tel. 0120-804-280
Tel. 0120-692-885
お問い合わせ………Tel. 0120-064-300
Tel. 0120-692-880
／ Fax. 045-450-3291

〒221-0022　神奈川県横浜市神奈川区守屋町3-9　安田倉庫(株)内4号ビル

ホームページでのお問い合わせ（URL）**http://www.delonghi.co.jp**

DeLonghi **デロンギ・ジャパン株式会社**

〒101-0044　東京都千代田区鍛冶町1-5-6　第3大東ビル　Tel.03-5256-6321（代）